

## 行事等

11月5日：秋田県獣医師会獣医公衆衛生講習会において  
境副会長兼専務理事が講演  
11月9日：賠償責任保険中央審議会  
11月17日：第5回「第21回アジア獣医師会連合 (FAVA)  
大会組織委員会」(WEB 併用) に藏内会長、  
砂原副会長，村中副会長，境副会長兼専務理  
事，酒井顧問が出席  
11月18日：令和3年度アジア地域臨床獣医師等総合研修  
及びネットワーク構築事業計画変更に係るヒ  
アリング (WEB 開催) に境副会長兼専務理  
事が出席  
：愛玩動物看護師法及び改正動物愛護管理法に  
係る説明会に境副会長兼専務理事が出席

11月19日：令和3年度第8回業務運営幹部会  
11月24日：愛玩動物看護師法及び改正動物愛護管理法に  
係る説明会に境副会長兼専務理事が出席  
11月25日：「安心の未来」拡充運動令和3年度全国  
NOSAI大会に境副会長兼専務理事が出席  
11月29日：第6回獣医学実践教育推進協議会に境副会長  
兼専務理事，佐藤理事，横尾理事，加地理事  
が出席  
11月30日：第14回日本医師会・日本獣医師会連携  
AMR シンポジウムに藏内会長挨拶，境副会  
長兼専務理事が出席

## 日本獣医師会雑誌投稿原稿の募集について

日本獣医師会においては，構成獣医師をはじめ多くの獣医療関係者等から  
日本獣医師会雑誌への投稿原稿を広く募集しております。

なお，投稿に際しては，「日本獣医師会雑誌投稿規程  
(本号769頁に掲載)」を参照願います。



## 紹介

◎新刊

### 日本の馬 在来馬の過去・現在・未来

南保泰雄 (帯広畜産大学教授，動物医療センター長)

日本には「馬」「駒」という漢字が使用される地名  
やことわざが少なくない。「試験」「駅」など「うまへ  
ん」の漢字が，馬を使ったイベントに由来していたこ  
とは素人でも想像できる。戦後生産頭数の激減に伴  
い，馬は生活域から姿を消し，大半は競走馬という特  
殊な形で生きる動物となった。中でも明治大正時代に  
発令された馬匹改良法及び去勢法は，馬の淘汰，品種  
改良を加速させた要因であった。これらの法律を免  
れ，また去勢しなくても比較的小となしい品種が残っ  
た。それが8品種の日本在来馬である。言い換えると，  
日本在来馬は，悲しい歴史の中で人の優しさや生活が

内在された品種である。

新たに発刊された『日本の馬』は，8地域の在来馬を  
広く深く知ることができる，優れた一冊である。また，  
8品種の各論紹介と併せて，各方面で活躍する遺伝学  
や栄養学の専門家による在来馬生存の特徴や背景，歴  
史的なルーツが考察されている点が興味深くありがた  
い。間違いなく，本書は獣医師や馬科学者，馬愛好家，  
そして歴史に興味を持っているすべての日本人のバイ  
ブルとなるであろう。紹介者が読む限り，この書籍は英  
訳して世界の馬愛好者に発信できる十分な内容である。  
競馬ファンにもぜひ購入して熟読していただきたい。

編者：近藤誠司

発行：東京大学出版会

販売日：2021年10月5日

定価：4500円＋税

体裁：A5判・横組・ハードカバー208頁

ISBN：978-4-13-060245-7

問合せ：東京大学出版会

## 獣医師生涯研修事業のページ Q & A 執筆者の紹介

第74巻 獣医師生涯研修事業のページ Q&Aは次の方々に執筆いただきました。

遠藤なつ美（東京農工大学） 苅和 宏明（北海道大学） 百武 幸治（鹿児島大学）  
岡村 雅史（帯広畜産大学） 須永 隆文（北海道大学） 前田 賢一（北里大学）  
片山 泰章（岩手大学） 寺嶋 淳（岩手大学） 森田 智也（岩手大学）  
亀島 聡（北里大学） 華園 究（酪農学園大学） 山下 紀幸（鹿児島大学）〔以上50音順〕

### 【お詫びと訂正】

第74巻第10号（令和3年10月号） 令和3・4年度 特別委員会の構成

611頁「“One Health”推進検討委員会」について、委員会の名称に誤りがあり、また、浦山良雄委員の氏名が記載されておりました。以下のとおり訂正してお詫び申し上げます。

事業推進特別委員会	検討テーマ
<b>ワンヘルス推進検討委員会</b> 委員長：草場治雄 副委員長：塩本泰久 委員：浅井鉄夫、安食政幸、石黒利治、浦山良雄、高橋 徹、前田 健、丸山総一 本会役員：砂原和文、境 政人、大林清幸、加地祥文、宮澤 隆、酒井健夫	医師会及び医師のほか、“One Health”の推進に関連する団体・国際機関等との具体的な連携強化及び活動について検討、特に感染症対策について総合的に取り組む。

# 令和3年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会プログラム (オンデマンド配信)

〔令和3年11月24日現在〕

※内容は変更になることがあります。

## シンポジウム 「兵庫の至宝『但馬牛』と世界の舌を魅了する『神戸ビーフ』 ～改良と美味しさへの挑戦～」

日本産業動物獣医学会

- 但馬牛の歴史 野田昌伸（兵庫県立但馬牧場公園但馬牛博物館）
- 但馬牛肥育における飼養技術の開発 正木達規（兵庫県立農林水産技術総合センター 畜産技術センター）
- 新たな肉質評価技術を活用した但馬牛の改良 小浜菜美子（兵庫県立農林水産技術総合センター 北部農業技術センター）
- 但馬牛改良の変遷 ～血統・ゲノム情報の活用～ 大山憲二（神戸大学大学院農学研究科附属食資源教育研究センター）
- 神戸ビーフのブランドの歩みと取組み強化 谷元哲則（神戸肉流通推進協議会）

## 教育講演 「臨床家が解説する、現場で実践したい牛の外科『マル秘』テクニック」

日本産業動物獣医学会

- 黒毛和種牛の骨折に対する即時重合レジンによる創外固定 久野尚之（NOSAIひょうご 南あわじ家畜診療所）
- 牛の慢性第一胃鼓脹症に対する注射器製フィステルを用いた第一胃瘻管形成術 近藤 直（ヴェックス・北海道）
- ユトレヒト変法による乳牛の第四胃左方変位整復手術 森田 稔（NOSAI道央 名寄家畜診療所）
- 肥育去勢牛の下部尿路閉塞に対する会陰部尿道瘻管形成術及び下腹部膀胱瘻設置術 内山健太郎（内山家畜診療サービス・佐賀県）

## シンポジウム 「夜間小動物診療施設における救急疾患への対応」

日本小動物獣医学会

- 急性胃拡張胃捻転症候群 神津善広（北摂夜間救急動物病院）
  - 急性肺水腫 川瀬広大（札幌夜間動物病院）
  - てんかん重積の救急対応 中村 俊（どうぶつの総合病院 専門医療&救急センター）
- 〔総合討論〕

## シンポジウム 「獣医師の幹細胞治療について改めて考える」

日本小動物獣医学会

- 獣医領域における再生医療等製品の法的位置付けと今後の課題 佐藤耕太（農林水産省動物医薬品検査所）
  - 臨床現場における間葉系幹細胞の使用と課題 横山篤司（さくら動物病院 長野どうぶつ眼科センター 長野どうぶつ再生医療センター）
  - 動物再生医療技術研究組合の取組みで見えてきたもの 福田 威（動物再生医療センター病院）
  - 犬と猫で再生医療を実施する上で把握しておくべき指針と留意点 枝村一弥（日本大学）
  - 本邦初の動物用再生医療等製品「ステムキュア<sup>®</sup>」について 上田忠佳（DSファーマアニマルヘルス/池田動物細胞医薬センター）
- 〔総合討論〕

## シンポジウム 「注目すべき衛生害虫 ―その生態や防除について―」

日本獣医公衆衛生学会

- 保健所での相談事例から見たトコジラミ発生の実態と課題 矢口 昇（豊島区池袋保健所生活衛生課）
- ヒアリ侵入の現状 ―高まる定着の危機― 橋本佳明（兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館）
- 感染症を媒介するマダニの生態と同定法 山内健生（帯広畜産大学環境農学研究部門）
- 衛生害虫の殺虫剤抵抗性の現状とその機構 葛西真治（国立感染症研究所昆虫医学部）

## シンポジウム 「災害時に注意すべき健康危害 ―避難所における食中毒・栄養管理と感染症の制御について―」

日本獣医公衆衛生学会

- 災害時の避難所における食中毒予防 今川正紀（厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課食中毒被害情報管理室）
- 避難所における食中毒事例 ～救援物資が原因の事件とその検証～ 岡本裕行（京都府山城北保健所）
- 災害時の栄養・食生活支援について 久保彰子（女子栄養大学）
- 災害後の感染制御と環境感染学会 DICT の役割 櫻井 滋（静眠堂メディカルデザイン SMD）

**シンポジウム 「人と動物のコロナウイルス感染症」****(公社)日本獣医学会**

- 新型コロナウイルスの変異株はなぜ出現してくるのか 水谷哲也 (東京農工大学農学部附属感染症未来疫学研究センター)
- 伴侶動物のコロナウイルス感染症 前田 健 (国立感染症研究所獣医科学部)
- 家畜のコロナウイルス感染症 鈴木 亨 (農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門札幌拠点)
- 鶏のコロナウイルス感染症 (伝染性気管支炎) 真瀬昌司 (農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門)
- 日本のコウモリコロナウイルス 村上 晋 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

**シンポジウム 「希少鳥類における鳥インフルエンザウイルス感染対策の確立」****(公社)日本獣医学会**

- 希少鳥類の生息環境における鳥インフルエンザウイルスサーベイランス 笛吹達史 (鳥取大学農学部共同獣医学科)
  - HPAIV の希少鳥類への感染状況について 小澤 真 (鹿児島大学共同獣医学科)
  - 希少鳥類の培養細胞を活用した HPAIV 病原性の予測 大沼 学 (国立環境研究所)
  - ヒト用抗インフルエンザ薬の鳥類における有効性について 迫田義博 (北海道大学)
- [総合討論]

**シンポジウム 「ここまでわかった、人と動物における新型コロナウイルス感染症****—コロナ禍におけるペットとの付き合い方—****(公社)日本獣医師会**

- COVID-19 の現在及び今後の動向 松本哲哉 (国際医療福祉大学)
  - COVID-19 ワクチンの効果と安全性 岩田 敏 (国立がん研究センター中央病院)
  - ペットと COVID-19 感染症の実態 桃井康行 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
  - 小動物臨床の現場における COVID-19 に関連した取り組み 中川清志 (東京都獣医師会)
- [総合討論]

**シンポジウム 「新型コロナウイルス感染症・動物の感染症と獣医師****—獣医師の職場からの報告と獣医師全体のメンタルヘルスのために—****(公社)日本獣医師会**

- 新型コロナウイルス感染症と獣医師の関わり 白岩利恵子 (岩手県獣医師会食鳥検査センター所長)
- 動物の感染症対策を担う獣医師の今 佐藤則子 (茨城県県南家畜保健衛生所所長)
- 牛の健康から人の健康へ —社会と健康の関係— 金森万里子 (東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻博士課程)
- 組織公正性の高い職場づくりを —獣医師の職場環境や仕事内容を再考する— 谷 千賀子 (畜ガールズ(産業動物に興味のある女性の会)会長)
- これまでのシンポジウムのご講演から 未 定 (—)

**シンポジウム 「わが国の獣医学教育改革の動向」 新型コロナウイルス感染症・動物の感染症と獣医師****全国大学獣医学関係代表者協議会****【獣医学教育の国際認証と分野別評価】**

- 大学基準協会による分野別第三者評価の目的と進捗状況 中山裕之 (東京大学名誉教授)
- 欧州獣医学教育機関協会の認証取得の意義について 堀内基弘 (北海道大学獣医学部/帯広畜産大学畜産学部共同獣医学課程)
- 佐藤晃一 (山口大学/鹿児島大学共同獣医学部)

**【獣医学教育支援機構の役割】**

- 発足から現在に至るまでの経緯 高井伸二 (獣医系大学間獣医学教育支援機構)
- 共用試験の実施状況と課題 山岸則夫 (大阪府立大学)

**■ 農場管理専門獣医師等認定・活動支援事業研修会 (公社)日本獣医師会****■ 地区学会長賞受賞講演：今年度の獣医学術地区学会において「地区学会長賞」を受賞した演題約 50 題を配信****■ 日本獣医師会獣医学術賞「獣医学術奨励賞」受賞者記念講演**

日本獣医師会雑誌令和元年 8 号～令和 3 年 7 号までに掲載された論文の中から選考された、「令和 3 年度日本獣医師会獣医学術賞『獣医学術奨励賞』」を受賞した業績による記念講演 (3 題) を配信

**配信期間：令和 4 年 1 月 21 日(金)～2 月 6 日(日)**